

様式

技術名称	超音波振動注入工法	技術の分類	施工・防災	NETIS登録の有無 (有場合はNETIS番号)	CB-180008-A
会社名等	液状化対策統括工法協会	担当者	野口 好夫	連絡先	052-485-5190
技術の概要	固結系地盤改良工法の一つである薬液注入工法は、汎用性が高い利点がある一方、改良形状がいびつになるなど品質面で課題があった。本工法は従来型薬液注入工法に超音波振動を併用することで、薬液の地盤への浸透性が向上し、広範かつ良好な改良体を作ることができる。			対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 国土交通省職員 <input checked="" type="checkbox"/> 港湾管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 一般(施工業者・コンサルタント等含む)
				添付資料	パンフの有無
					その他の資料
技術の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注入時に超音波振動を発生させることで、薬液浸透の阻害要因となる土粒子間隙中の目詰まりが解消され、浸透が加速することで広範な改良体を作ることができる</li> <li>・浸透性の向上による浸透距離の拡大により、特に液状化対策において施工本数を削減でき、工期の短縮と経済性の向上を図ることができる (従来工法の1mピッチでの配置に対して、本工法は1.5~2mピッチで配置)</li> <li>・従来型注入工法(二重管ダブルパッカ工法)とほぼ同等の施工性と使用機械で、従来工法より高品質な改良体を作ることができる。超音波の発生はボタン一つで行える。</li> </ul>			その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電波法に基づく高周波利用設備の申請は不要(型式指定を取得済み)</li> <li>・振動部ホーンの先端部品は劣化するため、定期的に、あるいは目視確認により交換が必要</li> <li>・計画セット数により装置の増産が必要な場合は、納期が3~4ヶ月必要</li> </ul>

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。